

第2回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立住之江支援学校
校長名	益子 典子

開催日時	令和6年12月17日(火) 10:30～12:00
開催場所	府立住之江支援学校 3階 図書室
出席者(委員)	伊藤会長、安川委員、今枝委員、相澤委員
出席者(学校)	益子校長 岡本教頭 岩井教頭 田中事務長 島山首席 藤井首席 中山首席
傍聴者	0名
協議資料	令和 6年度 学校経営計画 進捗状況
備考	

議題等(次第順)

- ・校長挨拶
- ・会長挨拶
- ・令和6年度 学校経営計画 及び学校評価 について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1 確かな専門性を基盤とした教育活動の展開と地域支援の推進

- 校内支援委員会の充実について
- 実態把握を基盤とし、学習指導要領及びシラバスに則った授業の展開
- webページ活用による教育活動の発信について

2 全校で取り組むキャリア教育の推進

- カリキュラムマネジメント推進委員会での取り組みについて

3 安心安全を保障できる体制づくり

- 防災教育及び健康教育の実践、事故防止の徹底について
- インターネットやスマートフォンの有用性、危険性の学習
- 教育活動全般を紹介する学校ブログについて

4 学校組織の充実と健康的な職場環境の整備

- 時間外在校時間の状況とストレスチェックの状況について
- 新しい分掌組織について

・ブログの閲覧数がわかったり、いいねがついたりするとブログを書く教員のモチベーションにつながるのではと思う。卒業生も見ていたりする。

・どんな仕事もストレスがあると思う。数字だけにとらわれすぎず見ていくことも必要では。

・働く時間は平均より短いがストレス値は高いということは働き方の質の問題となってくる。その原因の分析を行い、風通しのよい職場を考えていけたら良い。

・説明から支援委員会の充実や授業の展開などよくわかった。シラバスをどう活かしていくか。子どもの実態をどうシラバスに合わせていくか。子どもの実態を見る時、アセスメントと合わせて教科での段階も見なければならない。それができると授業がしやすくなると思う。⇒本校ではアセスメントで段階判定を行っている。ブラッシュアップしていき、シラバスの完成度を高めていきたい。

・障がい特性が様々なので先生方の悩みやストレスも様々であると感じた。

次回の会議日程

日時	令和 7年 2月 予定
会場	府立住之江支援学校 図書室